

「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善に向けて

山口県教育庁義務教育課 令和7年3月

子どもたちが、授業における学習内容を、人生や社会の在り方と結び付けて深く理解し、これからの時代に求められる資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的に学び続けることができるようにするためには、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進することが求められています。

このスライドでは、令和6年度に県の指定を受け、授業研究に取り組んだ各学校の実践事例を紹介しています。各学校のWebページが掲載されていますので、今後の全校体制での授業づくりの参考としてください。

- 授業力向上実践研究指定校（県）実践事例



令和6年度授業力向上実践研究指定校

阿武町立阿武小学校

11月21日(木)

国語・算数・生活

山口市立大内南小学校

1月31日(金)

国語・算数・体育

下関市立熊野小学校

11月27日(水)

社会・算数・生活

宇部市立桃山中学校

11月12日(火)

国語・社会・理科

周南市立熊毛中学校

11月6日(水)

国語・数学・社会

和木町立和木小学校

10月18日(金)

国語・生活・図画工作

柳井市立柳井中学校

6月3日(月) 道德

11月11日(月) 保健体育

1月20日(月) 理科

「豊かな表現力が身につく、ICT機器の効果的な活用」

～共に学び合い、伝え合う授業を通して～

和木町市立和木小学校

①取組の概要

「ICTの効果的な活用」と「学び合い」を重点目標に全教員で研修を進めました。一人一授業や校内研修を通して、ICTの効果的な活用の実践事例をデータベース化し、授業内容や授業後の研究協議の内容を共有しました。また、町ぐるみ『和木学園』構想を基に行っている園・小・中一貫教育では、園・小・中の継続した異校種連携にも取り組んでいます。

○ICTの効果的な活用

・一人一授業での授業実践



・実践事例のデータベース化

ICT活用	学び合い
ICT活用事例	学び合い事例

指導案・研究協議
内容・記録写真など
をTeamsで共有

○学び合いの場を設定

・授業で学び合いの場・伝え合いの場を意図的に設定



指導案にわきっこを明記
わ・分かち合う
き・気付く
つ・付き合わせる
こ・こだわる

表現力↑
学習意欲↑
自己肯定感↑



○園・小・中一貫教育

・継続した異校種連携



①こども園⇔小学校

- ・おもちゃまつり(2年生・生活科)
- ・小学校へ招待しよう(1年生・生活科)
- ・ICT研修会(5年生・総合)

②小学校⇔中学校

- ・恵庭市(北海道)姉妹都市交流
- ・出前授業・職場体験

③和木町合同研修会

- ・ICT合同研修会
- ・和木町合同教職員研修会
- ・和木町リフレッシュ研修会など



②公開授業紹介【10月18日(金)公開】

教科名：生活科

学年：1年2組

こども園年長児との交流

単元名：あきとなかよし

本時の内容

身近にある自然を取り入れた遊びを創り出したり、異年齢の人と関わったりすることを通して、活動の楽しさや自分の成長に気付く。

教科名：図画工作科

学年：4年2組

単元名：ほってすって見つけて

本時の内容

オクリンクで友達のデザインを見たり、自分の版画のデザインを繰り返して思考したりすることを通して、自分だけの版画のデザインを作成する。

教科名：国語科

学年：6年2組

単元名：海のいのち

本時の内容

登場人物の葛藤や生き方の選択を人物相関図にまとめることを通して、登場人物の生き方について自分の考えをまとめる。



本研究会の概要・
参加者の振り返り
など



③Webページアドレス：[http://www.sky.icn-tv.ne.jp ~wakisho > index.html](http://www.sky.icn-tv.ne.jp/~wakisho/index.html)

取組の概要：1年間の取組の概要の紹介

研修主題：

「豊かな表現力を身につけ、ともに学び合う生徒の育成
～振り返りに重点をおき、学びのサイクルを意識した授業づくり～
主体的・対話的で深い学びのある授業の実現」

- ① 教科等横断的な視点からの指導方法の工夫
- ② 主体的・対話的で深い学びの充実に向けた授業改善
- ③ コミュニティ・スクールを核とし、組織的な体制を基盤とした授業改善

研修主題にそった「一人一授業」

学習形態の工夫 ～協働的な学び～

参観者と授業者によるめざす授業像の共有

生徒・保護者による授業評価を活用した授業改善

特別支援教育・生徒支援、道徳教育に関する研修の充実

個別最適な学びを保障するためのICT研修

教科のSTEAM化をめざした授業づくり

柳井市立柳井中学校

公開授業の紹介



【6月3日(月)公開】

教科名:特別の教科 道徳

学年:1年3組

単元名:「『どうせ無理』という言葉に負けない」

本時の内容:ロケット開発にかける思いを考えるを通して、自分の可能性を追求する。

【11月11日(月)公開】

教科名:理科

学年:1年4組

単元名:「光の性質」

本時の内容:スクリーンに映し出される像の特徴について分析・解釈する活動を通して、凸レンズによって作られる像の規則性や問題点を見出す。

【1月20日(月)公開】

教科名:保健体育

学年:1年1組

単元名:「剣道」

本時の内容:有効打突について自己や仲間の課題を発見することを通して、気剣体の一致した打突について追求する。

①取組の概要：授業の振り返りを充実させるために、引き出したい振り返りを設定した授業づくりに取り組みました。また、振り返りで得た「自分ができなかったこと」や「授業時に生じた疑問」を家庭学習の課題として設定し、生徒の疑問が次の授業のめあてになるという学習サイクルの定着にも力を入れました。



②公開授業紹介【11月6日(水)公開】

教科名：国語

学年：2年3組

単元名：仁和寺にある法師



本時の内容：文中の言葉、書き方に着目することを通して、作者のものの見方や考え方について思考し、作者についての自分の考えをまとめることができる。

<引き出したい振り返り>

○作者はどんな人物だと考えたか。

・「徒歩より」と書いたり、失敗を詳しく大げさに伝えたりしているところから、人の失敗には厳しい人物だと考えた。一方で、会話部分の書き方がおもしろく、係り結びで失敗を強調しているところから、文才がありユーモアのある人物だとも感じた。

教科名：数学

学年：2年1組

単元名：図形の調べ方



本時の内容：平行線の性質や三角形の角の性質などを根拠として筋道立てて考え、数学的な表現を用いて説明することができる。

<引き出したい振り返り>

- ・他の人の考え方を聞くことで、自分にはなかった新しい考え方を知ることができた。
- ・他の人がやっていた考え方も、家でやってみて、できるようになりたい。

教科名：社会

学年：1年1組

単元名：アフリカ州



本時の内容：モノカルチャー経済の問題点を考察し、説明することができる。

<引き出したい振り返り>

- ・東南アジアにもプランテーションがあることから、モノカルチャー経済なのか気になった。
- ・モノカルチャー経済にも2つの側面があり、強みもあることが分かった。

「学びの楽しさや喜びを実感する授業づくりを目指して」

山口市立大内南小学校

【1月31日(金)公開】

- ①取組の概要：教科チームによる組織的な授業力向上、フリートーク、学習に関する意識調査
- ②公開授業紹介：「見方・考え方」「はじめ、つながり、終わり」を視点にした授業



教科名：算数科

学 年：3年3組

単元名：小数ってどんな数？(小数)

本時の内容

小数と分数の大きさの比べ方



教科名：体育科

学 年：5年4組

単元名：より大きく美しい動きで回転技をきめよう!(跳び箱運動)

本時の内容

回転技における自他の動き



教科名：国語科

学 年：6年3組

単元名：登場人物の生き方について、考えたことを話し合おう(海の命)

本時の内容

登場人物の関わりや影響度

③Webページアドレス：<https://fa.fureai-cloud.jp/minami-e>

「学力向上をめざした誰一人取り残さない授業改善」

宇部市立桃山中学校

①取組の概要

学びに向かう生徒の困難さや、それぞれの課題を解決するために、授業の中でどのような取組を行うかを具体的に設定した。その際に「誰一人取り残さない支援」を目標として考えた。子どもの学びを、導入、展開においても「振り返り」の視点を活用して、どこでつまづいているのかを確認した。子ども自身の学び直しの時間を単元計画の中に入れることで、課題を課題のままにしないこと、そして子ども自身が自ら課題を解決していこうとする態度を育てることを意識した。教師は、生徒の理解度に応じた支援方法を用意し、つまづきのある生徒への個別の支援を行った。

②公開授業紹介【11月12日(火)公開】

教科名:理科

学年:2年3組

単元名:電流の性質

本時の内容

抵抗器の数やつなぎ方の条件を変化させた回路において扇風機の風量を確認する実験を通して、抵抗の数やつなぎ方と回路全体の抵抗の値の関係性を見出す。



教科名:国語

学年:3年2組

単元名:多角的に分析して書こう

本時の内容

構成シートをつくることを通して、説得力のある文章となるように構成を工夫することができる。



教科名:社会

学年:3年4組

単元名:地方自治と私たち

本時の内容

宇部市の地理的環境・社会の情勢等からどのような政策を立てればよいか考察する。



桃山中学校 理科 授業のスタートライン

授業日:令和元年11月12日(火) 4時間目
実施科:2年3組 理科 2年3組

単元	単元	単元
<p>1. 扇風機の風量を確認する実験を通して、抵抗の数やつなぎ方と回路全体の抵抗の値の関係性を見出す。</p>	<p>2. 抵抗器の数やつなぎ方の条件を変化させた回路において扇風機の風量を確認する実験を通して、抵抗の数やつなぎ方と回路全体の抵抗の値の関係性を見出す。</p>	<p>3. 抵抗器の数やつなぎ方の条件を変化させた回路において扇風機の風量を確認する実験を通して、抵抗の数やつなぎ方と回路全体の抵抗の値の関係性を見出す。</p>



桃山中学校 国語 授業のスタートライン

授業日:令和元年11月12日(火) 4時間目
実施科:3年2組 国語 3年2組

単元	単元	単元
<p>1. 構成シートをつくることを通して、説得力のある文章となるように構成を工夫することができる。</p>	<p>2. 構成シートをつくることを通して、説得力のある文章となるように構成を工夫することができる。</p>	<p>3. 構成シートをつくることを通して、説得力のある文章となるように構成を工夫することができる。</p>



桃山中学校 社会 授業のスタートライン

授業日:令和元年11月12日(火) 4時間目
実施科:3年4組 社会 3年4組

単元	単元	単元
<p>1. 宇部市の地理的環境・社会の情勢等からどのような政策を立てればよいか考察する。</p>	<p>2. 宇部市の地理的環境・社会の情勢等からどのような政策を立てればよいか考察する。</p>	<p>3. 宇部市の地理的環境・社会の情勢等からどのような政策を立てればよいか考察する。</p>



③Webページアドレス: <https://www.ube-ygc.ed.jp/myj/>

② 公開授業紹介【11月27日(水)公開】



教科名：生活科

学年：1年2組

単元名：あきとなかよし

本時の内容

秋の自然物を使って、遊びを見つたり比べたり試したりする活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくることができる。

学び方を選択
できる授業

～授業者より～

「こんな道具があったら…」 「もっと〇〇したい！」など、自分から活動内容を提案してくる児童もいた。自分の思いに沿った活動を選択・決定することで、とても意欲的に活動することができた！



教科名：社会科

学年：3年3組

単元名：火事からくらしを守る

本時の内容

火事が起きたときの連絡の流れについて調べる活動を通して、通信指令室がなぜ関係機関へ連絡するのかということに気付くことができる。

学び方を選択
できる授業

～授業者より～

学級全員が「自分から学習に取り組んでいる」という感覚をもって活動していた。学び方（学ぶもの）を選択して調べ学習を進めたことで、主体的に課題解決を図ることができた！



教科名：算数科

学年：5年4組

単元名：平均とその利用

本時の内容（学習進度に応じて）

- ・部分の平均から全体量を求める。
- ・部分の平均から全体の平均を求める。
- ・歩幅の平均を調べ、道のりを求める。

単元内自由進度学習
(くまの子セレクト学習)

～授業者より～

児童は、試行錯誤しながら、自ら進んで課題解決を図っていた。しかし、ヒント動画の準備、学習カードの工夫、共学びを促す手立て、個別の支援等、自力で学習内容を理解できるように努めたが、理解が不十分なまま学習を終えた児童もいた。今後も、「学習内容の理解」を伴った単元内自由進度学習の在り方を研究したい！



③ Webページアドレス

<https://shimomachi-plus.jp/schoolTop?articleId=61fcfafc5cf98300550eb09e&orgId=514547>

「毎時間の『学ぶよさ』と『見方・考え方』を考えることが、授業力向上の第一歩」

阿武町立阿武小学校



①取組の概要

日々の授業力向上

本校では
令和6年度から
本格導入

ロイロノートの活用

効果的な場面で

毎時間

見方・考え方を考える

学ぶよさを考える

ここを見ればいいんだ!
こう考えるといいんだ!

学校の勉強って、役立つ!
生活に生かせそう!

